



しっかり記帳で きちんと管理!

農薬使用の内容は必ず記帳し
保管しましょう



お問い合わせ先

公益社団法人
緑の安全推進協会 クロップライフジャパン
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-12-11 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-3-6
TEL. 03-5209-2511(代) TEL. 03-5649-7191
FAX. 03-5209-2513 FAX. 03-5649-7245
www.midori-kyokai.com www.jcpa.or.jp

農薬に関する相談や、農薬の安全性と適正使用などに関する
講師派遣のお問い合わせは

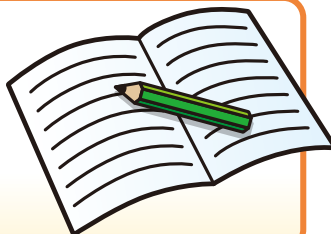
(公社)緑の安全推進協会「でんわ相談」 ☎03-5209-2512



なぜ記帳するの?

安全な作物づくりに
記帳はかせません

記録することで、有効成分ごとの使用回数等の確認が容易になり、使用基準を遵守していることが証明できます。



記帳は使用者の努力義務として農薬取締法で規定されています。

残留基準値超過などの問題が発生した場合に、迅速な原因究明や対応が可能になります。

圃場名: ○○○○ ✓
作物名: △△△△ ✓
農薬名: ××××× ✓
使用量: □□□□ ✓
対象病害虫: ○○ ✓
使用回数: △△ ✓
使用月日: △/□ ✓



記帳する内容は?

以下の項目をしっかり記帳し
最低3年間は保管しましょう

- 使用場所 (圃場、施設名)
- 作物名 (品種)
- 使用日、収穫日
- 使用者名
- 農薬名及び有効成分名
- 使用濃度 (希釈倍数) 及び使用量
- 病害虫、雑草など
- 使用器具、使用方法
- その他 (最終有効年月など)※

※使用時の天候、GAP(農業生産工程管理)の取り組み推進に必要な各種事項、など



どんな効果がある?

適正に記帳し、保管することにより
以下のようなことが期待できます

農薬を適正に使用したことが証明でき、消費者へ情報提供することにより農作物・生産者への信頼が高まります。



農薬の効率的な使用が検証でき、無駄を減らせます。

記録をもとに計画的に農薬を使用することで、生産の安定、品質の向上、効率的な農作業が実現できます。





実際に記帳してみよう!

STEP 1 作物についての情報を記入しましょう。

記録用紙を用意し、圃場名、作物名(品種)、は種・定植日などを記入します。同一の圃場に数種類の作物を栽培している場合は、作物・作型・圃場・ハウスごとに分けて記入します。またそれらの作付場所については別途、略図を描いておきましょう。

STEP 2 農薬の使用についての情報を記入しましょう。

まず使用日と使用者の名前を記入します。次に使用した農薬容器の表示を見ながら①～⑦の項目を記入していきます。確認しながら記入することで、誤用を防止できます。

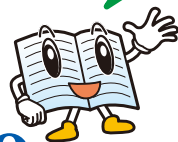
STEP 3 そのほかの情報を記入しましょう。

使用器具、保護具、備考欄への記入もしましょう。

毎日の農作業の内容は、農薬使用の有無にかかわらず、作業日誌につけておきましょう。

記入例

使用履歴を正確に記帳しよう



令和〇〇年度 農薬使用履歴

適用表にある作物ですか?

①から⑥までの日数が③の日数以上になっていますか?

圃場名	〇〇〇〇圃場	作物名(品種)	キャベツ(ABC)
は種日	/	定植日	/
		収穫日	⑥ /

登録農薬ですか? 有効年月内ですか?

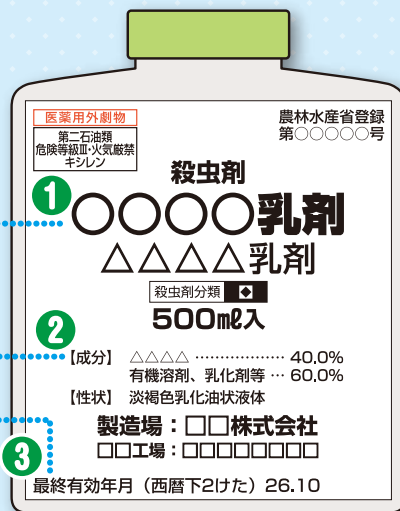
農薬使用日	使用者	農薬名(商品名) 剤型も記入	有効成分名・含有量	最終有効年月	適用病虫害、雑草など	農薬使用量 (希釈倍数および使用液量など)	本剤の使用回数 (農業ごと) 今回まで/最大使用	総使用回数 (成分ごと) 今回まで/最大使用	処理方法/使用器具	保護具	備考 使用時期(収穫前日数)、散布時の気象、病虫害発生状況等
〇月×日	大阪花子	〇〇〇〇粒剤	△△△△2%	2028年10月	コナガアオムシ	2g/株	1/2	1/3	植穴処理	手袋 マスク	曇り~晴れ
△月〇日	東京太郎	×××水和剤	△△△△10% ▽▽▽▽10%	2029年10月	アブラムシ類	1000倍 150L/10a	1/3	2/3 1/4	動噴No2	メガネ、手袋 マスク	晴天 少発生
×月×日	東京太郎	〇〇〇〇乳剤	△△△△40%	2026年10月	コナガアオムシ	4000倍 200L/10a	1/3	3/3	動噴No2	メガネ、手袋 マスク	曇り~晴れ 中発生

適用表の④にある病虫害、雑草ですか?

適用表の⑤と異なっていませんか?

農薬ラベル、適用表を確認しよう

農薬ラベル



商品名

有効成分名含有量

最終有効年月 使用できる期限

適用表

【適用病虫害と使用方法】

*印は、その日 まで使用できる収穫前日数と本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	10アール当り使用液量(ℓ)	③* 使用時期	⑥* 本剤の使用回数	⑦* △△△△を含む農薬の総使用回数
キャベツ	④ アオムシ	⑤	⑤	7日	⑥ 3回	⑦ 3回
非結球あぶらな科葉菜類	アオムシ コナガ ヨトウムシ	2000~4000	100~300	14日	2回	2回
トマト ミニトマト	アブラムシ類	4000		前日	3回	3回

使用方法: 散布